

# 法人名 (公財)山梨県子牛育成協会

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	松村 孝典		所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	北杜市小淵沢町大平10061		電話番号	0551-36-3200		
ホームページURL			E-mailアドレス	yatuboku@io.ocn.ne.jp		
資本金(基本財産)	10,000	千円	設立年月日	S52.3.23		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		10,000	千円	100.0 %
	2				千円	0.0 %
	3				千円	0.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	その他	団体(者)			千円	0.0 %
設立目的	山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。					
	経緯概況等： 県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。 昭和52年：(財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。 昭和60年：県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。 平成5年：県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。 平成12年：堆肥処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。 平成13年：周年預託業務を開始。 平成18年：県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の指定管理者となっている。 平成23年：公益財団法人に認定された。					

## 【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H20年度	H21年度	H22年度
事業1 八ヶ岳牧場業務	県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却。 農家有家畜(牛・馬)の周年受託業務。 草地等の維持管理業務。農家の巡回調査指導業務。	228,602	230,913	221,763
事業2 まきば公園業務	めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理。 公園施設、草地、植栽の維持管理。 来園者の対応、各種イベントの開催。	15,847	16,037	15,284
事業3				

## 【組織】

年度	平成21年度					平成22年度					平成23年度							
	職 員	プロ パー 職員	派遣 兼 業務	県 職 員	県 O B	其 他	職 員	プロ パー 職員	派遣 兼 業務	県 職 員	県 O B	其 他	職 員	プロ パー 職員	派遣 兼 業務	県 職 員	県 O B	其 他
4月1日現在の人員																		
役員	理事(常勤)	1			1		1			1		1			1			
	理事(非常勤)	8		2		6	8		2		6	8		2		6		
	監事(常勤)	0					0					0						
	監事(非常勤)	2		1		1	2		1		1	2		1		1		2
	評議員	0					0					5						5
計	11	0	3	1	7	11	0	3	1	7	16	0	2	1	13			
職員	管理職	2	2				2	2				2	2					
	一般職員	19	19				19	19				19	19					
	臨時職員	1				1	2				2	2				2		
	非常勤職員	0					0					0						
計	22	21	0	0	1	23	21	0	0	2	23	21	0	0	2			
プロパー職員の年齢構成 (H24. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計										
	男性		1	6	7	5		19	役勤	※								(千円)
	女性		1		1			2										※
	合計	0	2	6	8	5	0	21	職勤	43								(千円)
※常勤役員は一名のため個人情報保護の観点から、非公表。																		
平均年齢 平均年収 43 5,464																		

## 【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		20年度	21年度	22年度	増減(22-21)
正味財産の状況	基本財産運用益	150	150	150	0
	受取会費・受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	205,888	207,809	210,579	2,770
	自主事業収益	41,102	37,316	41,167	3,852
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	16,659	22,782	5,314	△ 17,468
	経常収入 計	263,799	268,057	257,210	△ 10,847
	事業費	244,449	246,950	237,047	△ 9,903
	うち人件費	157,114	148,758	138,121	△ 10,637
	管理費	17,194	20,654	17,636	△ 3,017
	うち人件費	14,708	16,788	15,445	△ 1,343
	経常支出 計	261,643	267,604	254,684	
	当期経常増減額	2,155	453	2,526	2,073
	経常外収入	4,256	0	0	0
	経常外支出	0	0	0	0
	当期経常外増減額	4,256	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,412	453	2,526	2,073	
当期指定正味財産増減額	0	0	0		
正味財産期末残高	44,366	44,819	47,346	2,526	

(単位:千円)

項 目		20年度	21年度	22年度	増減(22-21)
財務状況	流動資産	27,004	32,358	28,063	△ 4,295
	固定資産	104,355	98,206	96,825	△ 1,382
	資産 計	131,359	130,565	124,888	△ 5,677
	流動負債	11,327	18,791	13,714	△ 5,077
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	75,666	66,954	63,828	△ 3,126
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	86,993	85,745	77,542	△ 8,203
	正味財産	44,366	44,819	47,346	2,526
	うち基本財産への充当額	10,000	10,000	10,000	
うち特定資産への充当額	3,808	5,213	6,617		

(単位:千円)

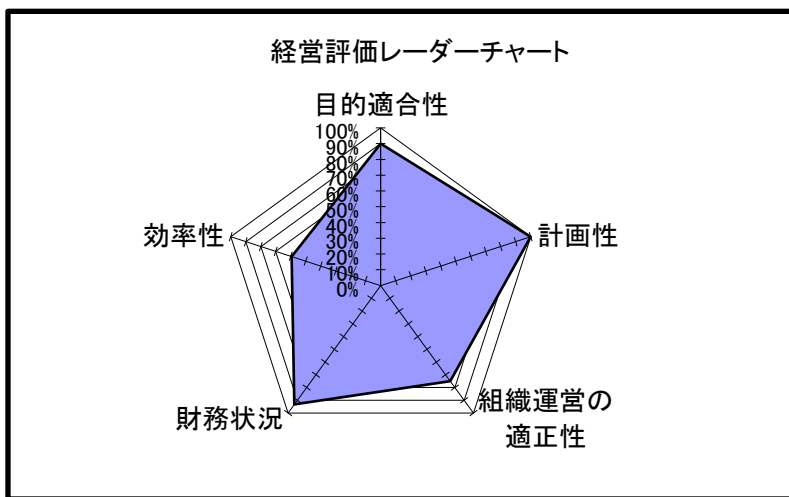
項 目		20年度	21年度	22年度	増減(22-21)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	158,899	150,373	142,645	△ 7,728
	人件費以外の委託金	46,989	57,436	67,934	10,498
	委託金 計	205,888	207,809	210,579	2,770
	県支出金 計	205,888	207,809	210,579	2,770
	県の財政的関与の割合(%)	78.0	77.5	81.9	4
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

## 【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	指定管理者制度に基づき、管理委託料が支払われている。
債務負担行為	「県立八ヶ岳牧場」および「県立まきば公園」の管理は、5年間の債務負担行為に基づき管理委託料として執行している。

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	18	90.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	12	75.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	41	93.2%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	19	59.4%
合計		33	132	110	83.3%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	農家家畜の受託と肉用牛の生産・売却を行い、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、本県の畜産振興を図るため、指定管理者として基本協定に基づく業務を行い、事業目的の達成に努めている。
計画性	毎年度、事業計画を設定し、より効率的な管理運営と経営の安定を図っている。 また、計画的に施設改善等を行い善良管理に努めている。
組織運営の適正性	指定管理者として管理運営するに伴い、組織、職員数等を見直しており運営は適正に行っている。 また、平成23年からは公益財団法人として認定され、より健全な運営に努めている。
財務状況	主要な財源を管理委託料と独自の収入源である利用料収入で充当して運営している。利用料収入は前年度の10%増となり、支出の削減に努めたことにより経常損益はプラスであった。
効率性	運営方法の効率化を図ってきたところであるが、更に運営経費の削減率を高めると共に、利用者数の確保と創意工夫による効率的運営が必要である。
総合的評価	実施事業は全て公益事業に認定され、設立目的は適切に達成しており事業の公益性は高い。 冬期受託の受入増頭により利用者のニーズに役立っているが、経営的には飼養経費が増加しており、粗飼料の安定確保が大きな課題となっている。 今後も、より一層の合理的経営を計画的に進めていくと共に、自主事業収益の増収に努める。



対応策	八ヶ岳牧場業務については、衛生対策の充実と受精卵移植等の繁殖に関するサービスを強化し、優良肉用牛の安定供給と受託頭数の拡大を図ると共に、粗飼料の増産を図り運営経費の削減に努める。 まきば公園業務については、新規イベントの企画や内容の充実を図り、利用者数の拡大を図る。 牧場と公園の連携による効率的な運営と利用者へのサービス向上を図り、情報の積極開示に努める。 公益財団法人として、自らの責任で内部統治できる組織体制に移行する。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	本県における大家畜の畜産振興を推進するため、県条例並びに当協会設置目的に従い適切に受託事業等を実施している。 本県の畜産振興の推進に寄与していることから、十分適合している。
計画性	年次計画等に策定された中期経営計画に基づいて、効率的な組織運営が行われており、今後も適切な管理・運営の継続が見込まれる。
組織運営の適正性	協会の運営は、最小限の役職員によりの確かつ効率的に行われており、人事・財務等の内部管理体制も適切に運用されていることから、組織運営は適正である。
財務状況	事業経費の削減等に努めた結果、経常損益は6期連続で黒字となり、収益性が向上しており、安全な経営が行われている。
効率性	更なる利用者サービスの向上と積極的なPR活動を行い、利用者数の確保に努める必要がある。また、今後は人件費の抑制だけでなく意識改革を進めることで人材を有効に活用していくことも必要である。
総合的評価	当協会の存在意義、組織体制、財務状況、職員の技術能力や意識水準から総合的に高く評価できる。今後は、より一層の合理的な経営や自主財源の確保に努めていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	
総合的所見	
※ ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立八ヶ岳牧場等の指定管理者となっており、利用者サービスの向上や経費削減などの経営努力を行い黒字決算が続いている。</li> <li>・数値目標であるまきば公園の入園者数は昨年と比較し減少したが、八ヶ岳牧場の受託頭数など他の目標は達成している。</li> <li>・今後は、職員の高齢化が進むことから、人件費の抑制や組織の新陳代謝の検討を行うとともに、施設利用実績の改善につながる取り組みを引き続き行っていく必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・八ヶ岳牧場の管理業務については、県有牛の育種改良と優良な肉用素牛の販売並びに預託牛への受精卵移植等の繁殖サービスを充実し利用頭数の拡大に努めるとともに新規利用者の開拓に取り組んでいく。</li> <li>・まきば公園管理業務については、新たなイベントの企画や内容を見直し、入場者数の向上や顧客満足度の高い公園を目指していく。</li> <li>・職員構成の高齢化に対処すべく、退職者の補充に当たっては、資質を考慮し、極力若手職員の採用に努めていく。</li> <li>・公益財団法人として本県畜産の安定的発展に寄与するため、経営計画に沿った健全な管理運営を行っていく。</li> </ul>
---